

## 滋賀県東近江市

# 地域おこし協力隊募集要項

(1) 活動地域	滋賀県東近江市永源寺地区 ※ 東近江市の概要は別記のとおり。
(2) 募集人員	1名
(3) 活動内容	<p>東近江市は市域の56%を森林が占めており、標高1,000メートル級の山々が連なる鈴鹿山脈でかん養された水は、湖東平野を経て琵琶湖に注いでいます。この恩恵を受け、多様な生態系と歴史文化が育まれてきました。また、令和元年5月には、東近江市小椋谷が滋賀県内で初めて日本森林学会の林業遺産に認定されるなど、多くの注目を集めています。</p> <p>しかし、林業従事者は全国的に減少しており、本市においても後継者や担い手が不足し、森林の適正管理や森林資源の活用等が課題となっています。そのような中、市では令和7年3月に「東近江市100年の森づくりビジョン（第2期）」を策定し、100年先を見据えた健全な森林づくりや資源利用を進める指針を立てています。</p> <p>本市では、林業をはじめとした森林資源の活用や保全に携わる担い手を増やすことで、森林整備を促進するとともに、山村の活性化につながることを期待しています。</p> <p>これまで3名の隊員を選任しており、そのうち2名は任期を終えた今も引続き地域に定住し、森林資源の活用や保全等に携わっています。また、もう1名は、現役隊員として活動を継続しており、地域になじみ、林業関係者として地域のにぎわいづくりに寄与しています。これらを踏まえ、林業家を目指していただくなど、本市の森林資源を生かした活動を実行していただきます。</p> <p><b>(主な活動内容)</b> ※以下の1～3に取り組んでいただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 森林整備に関する専門技術を習得し、森林を整備する活動</li><li>2 森林資源の活用等に関する活動 (例)<ul style="list-style-type: none"><li>・東近江市産材の活用など森林資源の掘起し及び経済的利用に関する活動</li><li>・若い世代向けに森林の魅力を発信する活動を行い、多くの人に森林に関わっていただく活動</li><li>・森林関係者等とのネットワーク構築</li><li>・鳥獣害対策に関する活動</li></ul></li><li>3 永源寺地区の活性化につながる活動</li></ol>

	<p>(地域の拠点となる公共施設など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・永源寺コミュニティセンター</li> <li>・道の駅奥永源寺溪流の里</li> </ul> <p>(研修制度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定期間、森林組合の指導を受け、森林整備に関する技術を習得することとします。</li> <li>・滋賀もりづくりアカデミー制度等を活用し、知識及び技術習得に努めることとします。</li> <li>・市や県が主催する地域おこし協力隊に関する研修に参加することとします。</li> </ul> <p>※これらの経費は、活動経費から支出することができます。</p> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居住予定地で活動されている地域団体及び地域住民と積極的に連携すること。</li> <li>・月1回、活動の成果と翌月の活動予定を市に報告すること。</li> <li>・年1回、1年間の活動について、報告会を開催すること。</li> </ul>
(4) 募集対象	<p>次の①～⑥の要件を満たす方を募集します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 年齢 20 歳以上、40 歳以下の人（令和 8 年 4 月 1 日時点）</li> <li>② 移住の地域要件を満たし、かつ、委嘱後に永源寺地区に住民票を移し、生活できる人 ※地域要件については、総務省が設定している基準による</li> <li>③ 心身共に健康で誠実に職務を行うことができる人</li> <li>④ 地域の特性や慣習を尊重し、地域住民と協働して活動できる人</li> <li>⑤ 普通自動車免許を取得している人</li> <li>⑥ パソコン（ワード、エクセルなど）の基本的な操作ができる人</li> </ol>
(5) 活動時間	<p>月 160 時間程度</p>
(6) 委 嘱	<p><b>①委 嘱</b> 東近江市長が地域おこし協力隊員として委嘱します。 ※市との雇用関係はありません。</p> <p><b>②期 間</b> 令和 8 年 9 月から 3 年間（1 年ごとに更新） ※ただし、協力隊員としてふさわしくないと判断した場合は、任期中であってもその職を解くことがあります。</p>

(7) 報 償	月額 267,000 円 ※源泉徴収有
(8) 待遇・ 福利厚生	<p>① <u>住 居</u> 市が活動地域内にある住居を提案します。委嘱期間中の家賃は活動経費から支出することとします。ただし、転居に係る費用、生活備品、光熱水費、自治会費等は個人負担とします。</p> <p>② <u>自家用車</u> 自家用車は原則持ち込みとします。自家用車を所有していない人は、活動経費でリースすることができます。</p> <p>③ <u>保険年金</u> 社会保険・雇用保険には加入しません。各自で国民健康保険、国民年金及び活動中の傷害保険等に加入することとし、その経費は個人負担とします。</p> <p>④ <u>パソコン</u> パソコンは原則持ち込みとします。パソコンを所有していない人は、活動経費でリースすることができます。</p> <p>⑤ <u>必要経費</u> 活動に要する経費は、市と隊員が委託契約を締結し、活動内容に応じて予算の範囲内において支出します。※対象経費可否の規定があります。 <b>【活動経費（委託料）】 年額 2,000,000 円上限</b> ※ただし、委嘱期間に応じて調整します。</p> <p>⑥ <u>その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力隊員としての活動に支障がなければ、副業を認めることもあります。その場合は、事前に市（林業振興課）と協議することとします。</li> <li>・活動について、疑義や問題が発生した場合は、協力隊員と市の双方で協議して対応します。</li> </ul>

(9) 応募手続	<p><b>① 募集期間</b> 令和8年3月1日（日）から令和8年6月30日（火）消印有効</p> <p><b>②提出書類</b> 応募用紙（様式1）、企画提案書（様式2）、履歴書及び職務経歴書 ・応募用紙…氏名、生年月日、性別、現住所、連絡先、応募動機、自己紹介、特技・資格等（A4用紙2頁以内） ・企画提案書…永源寺地区で取り組みたい活動の名称及び内容（A4用紙4頁以内） ・書類の提出は郵送（締切当日消印有効）とし、提出された書類は返却しません。</p> <p><b>③申込み・問合せ先</b> 東近江市農林水産部林業振興課 [担当] 端、中西 ・住所 〒527 - 8527 滋賀県東近江市八日市緑町10番5号 ・電話 0748-24-5523（直通） 0748-24-1234（代表） ・ファクス 0748-23-8291（直通） ・E-mail <a href="mailto:ringyou@city.higashiomi.lg.jp">ringyou@city.higashiomi.lg.jp</a></p>
(10) 選考	<p><b>①一次選考</b> ・書類選考の上、結果を7月上旬に応募者全員へ文書で通知します。 ・第二次選考の詳細は、第一次選考の合格者に通知します。</p> <p><b>②二次選考</b> 第一次選考の合格者を対象に7月下旬に面接を行います。結果は8月上旬に面接者全員に文書で通知します。</p> <p><b>(その他)</b> 最終合格者1名については、8月中に事前の研修を受けていただくとともに、協力隊委嘱式に出席していただきます。詳細は最終合格者に通知します。</p>
(11) その他	<p><b>現地見学会の開催</b> 活動地域の地勢や自然等を知っていただくため、現地見学会を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日時 申込者と日程調整の上、決定します。</li> <li>・申込み先 東近江市農林水産部林業振興課</li> <li>・申込み期限 令和8年6月15日（月）正午</li> <li>・詳しくは、東近江市農林水産部林業振興課までお問い合わせください。</li> <li>・現地見学会への参加の有無は、応募や選考の条件となるものではありませんが、事前の下見をお勧めします。</li> </ul>

## [別記]

### 1 東近江市の概要

#### 【位置】

東近江市は滋賀県の南東部に位置し、北は彦根市、愛荘町、多賀町、南は竜王町、日野町、甲賀市、西は近江八幡市と接しており、東は三重県との県境となっています。

#### 【概要】

東近江市は、平成 17 年 2 月 11 日、八日市市、永源寺町、五個荘町、愛東町、湖東町の合併により誕生しました。さらに、平成 18 年 1 月 1 日には、東近江市と能登川町、蒲生町が合併し、鈴鹿山脈から琵琶湖に至る広大な市域を有するまちとして、新たな歴史を歩み始めました。

地形は東西に細長く、東は鈴鹿山脈、西は琵琶湖に面しています。市域の中央には愛知川が流れ源流から河口までを有しています。また、市の南西部に日野川が流れており、この両河川の流域には平地や丘陵地が広がり、緑豊かな田園地帯を形成しています。加えて、地域内には箕作山（みつくりやま）や織山（きぬがさやま）などが点在し、豊かな自然に恵まれています。

歴史的には、額田王（ぬかたのおおきみ）と大海人皇子（おおあまのみこ）の相聞歌の舞台となった蒲生野や永源寺、百済寺、石塔寺など多くの古刹があることで有名です。

また、中世以降は市場町や門前町に連なる交通の要衝の地として栄え、近世には近江商人が活躍し、多くの企業家を生んでいます。このように様々な地域との交流を通して、数多くの文化が育まれてきたまちです。

#### 【面積】

総面積は、約 388.37km<sup>2</sup>（滋賀県総面積の約 9.7%）で、高島市・長浜市・甲賀市・大津市に次いで県内で 5 番目に大きな市です。

#### 【人口等】

[人口] 110,619 人、[世帯数] 48,002 世帯、[高齢化率] 27.92%  
(住民基本台帳登録者数令和 8 年 2 月 1 日現在)

## 2. 永源寺地域の概要

### 【位置】

東近江市の東部に位置する中山間地域で、山域は鈴鹿国定公園の中核となっており、東は三重県、南は日野町や甲賀市に接しています。鈴鹿山脈に源を発する愛知川の源流を有し、自然豊かな地域です。

さらに、京阪神と中部圏の中間地点に位置し、石博トンネルの開通により交通の結節点となる地域です。

### 【概要】

鈴鹿山脈に抱かれた永源寺地区は、琵琶湖に注ぐ愛知川水系の最上流域にあります。鈴鹿国定公園に代表される豊かな自然や木地師発祥の地などの歴史や文化、政所茶をはじめとする特産物、様々なアウトドア活動の場となる山や川などの多様な地域資源が存在しています。

しかし、こうした豊かな地域資源がある一方で、全国の中山間地域と同様に少子高齢化が進行している地域です。このような中、地域住民で組織する永源寺地区まちづくり協議会を中心に、地区の伝統文化を再発見し継承していくとともに、次代を担う人材を地域の子育て団体と協力し、地域活力を生み出す取組が展開されています。

また、平成 23 年 3 月には、三重県いなべ市に通じる国道 421 号石博トンネルが開通し、県境を越えた地域との連携や交流が拡大しています。さらに、平成 27 年秋には道の駅が開駅し、本市の東の玄関口となっています。

平成 26 年から現在まで、永源寺地区では 4 名の地域おこし協力隊の卒業生がムラサキの栽培と加工、政所茶の生産、林業従事者、木工作家などにより起業し定住しています。

### 【人口等】

人口 4,645 人、世帯数 1,950 世帯（令和 8 年 2 月 1 日現在）

高齢化率 37.5%（令和 2 年国勢調査）

### 【気候】

気温は年平均 15 度前後、年間降水量 1,700mm 前後で、全般的には穏やかな気候です。冬季には 10～20cm の降雪があります。山間部では、1 m を超える積雪となる場合もあります。

### 【交通】

東近江市コミュニティバス（市営バス）の運行はありますが、日常生活の移動は主に自動車となります。

## **【アクセス】**

### ◆車を利用の場合（永源寺支所）

名神高速道路八日市インターチェンジから国道 421 号を東に約 7.5km

### ◆公共交通機関を利用の場合（永源寺支所）

近江鉄道八日市駅から

近江鉄道バス「御園線」で「山上口」まで約 30 分

近江鉄道八日市駅からちよこっとバス「市原線」で「永源寺支所」まで約 50 分

## **【通信】**

ケーブルテレビ、インターネット環境は整備されています。

## **【区域内の幼稚園・保育所・学校】**

永源寺もみじ幼稚園（上二俣町 24 番地 1）

山上小学校（山上町 200 番地）

市原小学校（高木町 1124 番地）

永源寺中学校（山上町 4300 番地）

## **【医療機関】**

診療所 永源寺診療所（山上町 1352 番地）

総合病院 東近江総合医療センター（五智町 255 番地）